富山県聴覚障害者センターだより

●協会とセンターのホームページも見て下さい。www.tomichokyo.or.jpyo.or.jp
●手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布しています。

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

県に施策を要望、回答について話し合いました



橘理事長より池村県障害福祉課長に要望書を手渡す

９月16日（水）午後に富山県への要望懇談を行いました。富山県からの回答は下記の通りです。懇談では手話通訳者の設置は身分保障がきちんと検討されていない。盲ろう者向け通訳・介助員派遣の条件緩和が必要、災害バンダナはヘルプカードとは違う。避難時で必要なもの、難聴児支援協議会は子ども達の実態をきちんと踏まえた社会モデルにもとづく協議が必要など、意見を出しました。

1. **県聴覚障害者センター運営に係る職員増を含む補助金の確保**
   回答:デジタルツール等積極的に活用し、センターの適正かつ効率的な運営に努力して頂きたい
2. **障害者総合支援法における意思疎通支援事業の充実**
   回答:手話通訳者の設置は勤務内容や勤務時間等、柔軟な対応ができる協会への委託方式が適当と考えている。若年層手話通訳者養成事業は他県の取組情報収集を行い協会と相談し検討する。
3. **富山県手話言語条例、また国の手話施策推進法に基づく施策の充実**
   回答:手話普及活動促進事業を協会や市町村と連携して周知に努める。手話言語の国際デー・手話の日における、啓発のための公演や体験型イベント開催は協会と意見交換をしたい。
4. **聴覚障害者に十分配慮した災害対策**
   回答:災害バンダナはヘルプカードやヘルプマークと重複している部分が多いことから、まずはヘルプカードやヘルプマークの普及に取り組む
5. **難聴児等の支援**
   回答:県難聴児支援センター「みみえーる」は十分な予算を確保しコーディネーターを中心に切れ目のない支援を推進したい。
6. **聴覚障害のある高齢者の福祉の充実**
   回答:高齢者への補聴器購入の助成制度は県内では７市町村（小矢部市、滑川市、黒部市、入善町、富山市、立山町、舟橋村）で実施されており、市町村担当者会議を通じて情報共有したい。
7. **公共施設のバリアフリー**
   回答:文字表示機器やヒヤリングループシステム、筆談マークの整備や職員研修を通して手話のできる職員の配置等を推進したい。
8. **聴覚障害者の就労環境の改善に関する施策**
   回答:障害者会計年度任用職員の採用において、面接試験の時に手話通訳者の同席を認める等聴覚障害者も受験しやすいよう配慮を行っている。
9. **富山県福祉バスの更新**
   回答:運転業務を再委託している事業者より走行上支障はないと報告を受けている。
10. 聴覚障害教育の充実については、次のページに続きます。

センター利用の実績　９月18日～９月20日

●来所者合計約　５８７名
　聴障者約１８３名、健聴者約４０４名
●コミュニケーション支援　９３件
●ライブラリー貸出　１件３本
●相談対応　６件　　●部屋貸出４２件

★センター運営募金・募集
郵便振替口座；
00790 － 0 － 93002
名称；富山県聴覚障害者センターを支える会
よろしくお願いします。